



# 特産品活用し絶品中華

## 20・21日南城「蘇州料理フェア」

【南城】料理を通して沖縄と中国の友好親善交流を図る「蘇州料理フェア2010」(主催・徐傑光の道を歩もう会・共催・市)が20・21の両日、ユアソニエアル南城で開かれる。中国料理人等級で最

高位の「大師」である潘小敏さん(59)や胡建中さん(46)ら一流シェフ4人が江蘇省蘇州市から初来沖し、市特産の車エビやモスクなどを使った中華料理を提供する。

潘さんは江沢民前国家主席の「お抱え料理人」だったといい、現在も政府の国賓を招待する宴会などで活躍。フェアではフランスのシラク前大統領主催の夕食会で出したメ

ン・ソニエールの一つ「孔雀迎賓」を振る舞うほか、「南城市特産七夕料理コンテスト」もある。

市役所で4日、記者発表した古謝景春市長は「尖閣問題もあるが、このような機会を通して信頼関係を生むことで、沖縄が日本と中国の懸け橋になれば」と期待を込めた。同会の毒蓋山明祥会長は「蘇州料理を楽しんでいただき交流を深めてほしい。市特産品を提供し、経済交流の機会にもしたい」と述べた。

1日限定100席で完全予約

しましまネット

# 蘇州料理を 召し上がれ

20、21日 南城市でフェア

【南城】南城市と交流がある中国・蘇州市の本場料理を味わってほしいと、「蘇州料理フェア2010」（主催・徐葆光の道を歩もう会、共催・南城市）が20、21日、同



蘇州料理フェアをPRする古謝市長（中央）と徐葆光の道を歩もう会の津嘉山朝祥会長（左）、鄧揚華副理事長＝4日、南城市役所

などの県産素材を調理する。関係者は円卓を囲んだ国際交流や観光振興を期待している。

両市は古謝景春南城市長が2007年4月に蘇州市を訪問して以来、交流を続け、来年2月をめぐりに姉妹都市の締結も目指している。今年8月には南城市の乾燥モズクを提供しており、蘇州側が研究した新しいメニューがフェアで披露される。

蘇州市から同市飲食業協会長ら8人が訪問する。うち料理人4人は中国国家料理人等級の最高位「大師」とそれに続く「名師」の等級を持ち、腕を振るう。

フェアは1日100席限定で、料金は1人4千円。15品を提供する。

古謝市長は「蘇州料理は薄味でコクが深く、毎日食べても飽きない味。沖縄でぜひ紹介したい」とPRした。

問い合わせ、申し込みは徐葆光の道を歩もう会・上間 090（8914）7358。

H22年 11月 7日(日)  
 沖縄タイムス 琉球新報  
 朝 夕

# 中国の鉄人腕振るう

## 南城で蘇州料理フェア

【南城】中国蘇州市の国家級料理人4人が沖縄の食材で中華を振る舞う「蘇州料理フェア2010」が20、21の両日、市のマインホテル南城で行われた。2日間満席の240人の客が全15品を満喫。厨房では沖縄の料理人らが4人を支援するなど沖縄と中国の親善交流が展開された。モック料理コンテストも行われ、客の投票で「美味」「創作」「造形」「色彩」の4賞が決まった。

来沖したのは陳素顏さん(62)を団長に中国国家料理人等級最高位の「大師」の称号を持つ潘小敏さん、胡建中さんと次位「名師」の呉健さん、徐洪明さんの4料理人ら3人。4人は蘇州市内の有名なレストランやホテルの支配人、総料理長などを務めている。江蘇省と蘇州市の飲食業商會会長の陳团长は「沖縄の皆さんに蘇州料理の良さを知っていただき、料理を通

## 沖縄食材を活用

して国際交流を図りたい」と語った。

蘇州市と友好交流都市の締結を目指す南城市が共催し、締結に向けての環境づくりの一環として、中国と沖縄の友好親善交流を推進する徐葆光の道を歩もう会(建嘉山朝祥会長、那覇市)が企画、主催した。

料理一品目の「孔雀迎賓」は、江蘇民前国家主席のお抱え料理人だった潘大師がフランスのシラク前大統領主催の宴会で出した料理。その出来栄の良さは出席者から絶賛されたという。2目目に訪れた市玉城の銘酒書樓さん(79)は「おいしかった」と満足そうだった。

4人は18日の来沖直後から沖縄で調達した食材の点検や下ごしらえに入り、マインホテル南城の秋吉実総料理長ら同ホテル厨房スタッフとも連携、15品を提供した。

「若鶏岩塩包み焼」の包みを彫る古銅景春南城市長。右手前は團長兼南城市長、マインホテル南城



フェア終了後、客を見送る(右から)胡さん、呉さん、潘さん、徐さん

H22年 11月 28日(水)

琉球新報

朝刊

夕

# 蘇州料理 評価高め自信

## 南城市でフェア

蘇州市飲食業協会・陳素興会長

「南城市長記者会見から目  
後にチケットが完売した。  
「キャンセル待ちもかなりの出  
た。聞いた。蘇州料理への期待  
の表れと同時に、われわれ訪問  
団への歓迎、友誼の気持ちの表  
れを受け止めた。ほとんどが正  
装で来場、着物の女性も居た。  
着物は重要を催しに着ると聞い  
ている。参加者の意識の高さに  
感動した」

「参加者にアンケートした結  
果はこうだったか。

「一枚一枚丁寧に読んだ。97  
・2%が満足、来年も参加した  
いが88%だった。『みんなの口  
に合う料理をつくるのはとても  
難しい』という中国の増量があ  
るが、この数字には驚いた。次



料理を通じた交流に自信を深めたという陳素興  
会長（南城市長会見・西文学院）

【南城】中華料理を通じて沖縄と中国の友好  
交流を図ろうと20、21の両日開かれた蘇州料理  
フェア2010は市のイベントホール南城に両  
日も満席の240人を集めて行われ、好評だ  
った。4人の国家級料理人を派遣した中国江蘇  
省および同省蘇州市飲食業協会会長の陳素興さ  
ん(62)は「県民市民から高い評価をもらった。  
次回以降の開催に自信を深めた」と語り、毎年  
開催に意欲を示した。陳会長は、南城市と蘇州  
市が目指す友好交流都市締結フェアがどう開  
われたかを聞いた。(聞き手・上岡昭二)

## 友好都市締結の土台に

「日中関係がぎくしゃくした  
中での開催だったが。」

「中国と沖縄は二衣帯水、長  
い交流の歴史がある。鄧揚華さ  
んが著した『秦使琉球史(海船  
集)』で知った徐葆光が、約3  
00年前に築いた縁で結ばれた  
私たちの友誼はどんな事情があ  
っても切れることはない。中国  
駐福岡総領事館の後援も自信を  
与えた。中国人の一人として  
この友誼を子孫孫探めていき  
たい」

「南市の友好交流都市締結に  
フェアの果たした役割は。」

「南城市長が蘇州市を訪れた  
り蘇州市の芸能団が南城市で公  
演したりと、両市の交流は数年  
間続いている。その積み重ねが  
フェアの成功にも結び付いた。  
フェアは両市の友好交流都市締  
結にとってもいい土台をつくっ  
た。締結はもう時間の問題だと  
信じている」

「民間団体が間に入るとの交  
流だったが。」

「日中間に逆風が吹く中、主  
権の徐葆光の遺をまもる会の存  
在がなければフェアは開催でき  
なかった。徐葆光を通して沖縄  
には親近感がある。会の果たし  
た役割は大きい。政府と政府の  
間を結ぶ懸け橋に十分なりつ  
る」

「日中関係がぎくしゃくした  
中での開催だったが。」

「中国と沖縄は二衣帯水、長  
い交流の歴史がある。鄧揚華さ  
んが著した『秦使琉球史(海船  
集)』で知った徐葆光が、約3  
00年前に築いた縁で結ばれた  
私たちの友誼はどんな事情があ  
っても切れることはない。中国  
駐福岡総領事館の後援も自信を  
与えた。中国人の一人として  
この友誼を子孫孫探めていき  
たい」

H22年 11月 25日(木)	琉球新報	夕
朝	朝	夕